作業工程計画書

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 作業工程 | ポイント（留意事項等） | 参考資料（写真、図面等） |
|  |  |  |

作業工程計画書(受講者配布用例)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 作業工程 | ポイント（留意事項等） | 参考資料（写真、図面等） |
|  |  |  |

作業工程計画書（模範解答例）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 作業工程 | ポイント（留意事項等） | 参考資料（写真、図面等） |
| 準備  1.データシートの確認  2.動作点の決定  3.抵抗値の計算  4.コンデンサの計算  ５．シミュレーションソフトによる回路図入力  6.トランジェント（過渡）解析  7.AC解析  8.回路製作  9.測定  １０．評価・考察 | 使用機器の確認・準備  使用部品の確認・準備  トランジスタの最大定格と特性表を確認する。  特性表に直流負荷線を引いて、動作点を決定する。  それぞれの抵抗の値を計算し、定格電力を超えないことを確認してＥ系列から近い値を選定する。  ハイパスフィルタのカットオフ周波数から、コンデンサの値を計算する。  設計した回路図を入力して、値の設定を行なう。  入力波形と出力波形を表示させる。  周波数特性を表示させて、カットオフ周波数と電圧利得をグラフから読み取る。  ブレッドボード上に回路を作成する。  オシロスコープを用いて、入力波形と出力波形を確認し、テスターでバイアス電圧・電流を測定する。  計算値通りになったかどうか評価し、考察する。 | IMG_6980IMG_6988 |